

## 第4回 北広島市学校跡施設市民検討会議 議事概要

### ◆開催概要

日 時：平成22年9月6日（月）18：00～20：00

場 所：市役所本庁舎2階会議室

出席委員：遠藤智委員、大川壽雄委員、川島光行委員、北側理委員、栗山恒幸委員、  
佐藤靖委員、澤田美恵子委員、清水弘委員、瀬戸口剛委員、寺岡和彦委員、  
中井敏之委員、西和恵委員、檜皮義博委員、藤野伸之委員

欠席委員：五十嵐智嘉子委員

事務局：岩泉功一企画財政部長、櫻井芳信政策調整課長、川村裕樹政策調整課主査、  
岸本美由紀主事

傍聴者：6名

### 1 開 会

- ・本日は委員の15名中14名が参加している。委員の半数が出席していることにより、会議が成立していることを報告。

### 2 報 告

事務局により資料説明が行われた。

(1) 前回（7/20）市民検討会議における調査依頼事項

- ・北広島団地住民センター稼働率【別紙1】
- ・広葉小・緑陽小学校・団地住民センターの面積等【別紙2】
- ・国庫補助金等の取扱いについて【別紙3】

### 3 議 事

(1) 学校跡施設利活用に関する委員からの提案【別紙4】

#### 【会長】

- ・本日は、各委員会から具体的な提案をしてもらう。今日だけでは、全部の議論することはできないと思う。議論では、重要性、実現性、市民参加の視点が必要だと思う。

#### 【委員A】

- ・運営や経費のことを考慮して現実性の高いものを提案した。西の里や北広島団地などには児童館がないので児童館として活用するのがよい。

#### 【委員B】

- ・子育て支援が重要だと考えた。

#### 【委員C】

- ・低学年をもう少し長く預かってもらえるような施設にするのがよいのではないかと。

#### 【委員D】

- ・学校ということ尊重して学校跡全体を学ぶ場として継承すること考えた。校長室、教員

室を教育委員会の事務所として活用するのがよいのではないかと。

- ・教育委員会が入居することで、教育の核になるのではないかと。
- ・現在学校で行われている既存の事業を継承することが大切ではないかと。

**【委員 E】**

- ・教育費の格差が学習能力の差につながっているとされている。教育費をかけられない家庭を地域が支援するという視点から、学校跡を活用して有償・無償のボランティアで学習塾を開くのがよいと考えた。
- ・いずれにしても、行政からの支援が必要である。

**【委員 F】**

- ・北広島団地内には、児童館がない。今日は暇だなと思った子どもが気軽に行ける場になるとよいと思う。
- ・また、今日はこんな企画をやっているので、友達と気軽に参加できるといった場になるとよい。

**【会長】**

- ・学校跡を活用した学習塾というのは、子供の宿題も面倒みてくれるようなイメージではないかと。
- ・学童保育は 3 年生まで。児童館と学童保育は一緒になって子供がいる場にするのがよいのではないかと。

**【委員 F】**

- ・子供が気軽に参加できる・訪れることができるような児童館が良い。学童保育と児童館が一緒の施設が良いのではないかと。

**【会長】**

- ・学童保育と児童館が一緒の施設が良いのではないかと。

**【事務局】**

- ・輪厚の児童館は、学童保育と児童館が一緒になっている。

**【委員 G】**

- ・今回の提案は、活用から考えたのではなく、地域の人々の夢を実現するために運営母体から考えた。運営母体を考えたので貸しオフィスという提案をした。
- ・NPO などが学校跡全体を借りて運営するという運営母体から活用を考えてはどうか。

**【会長】**

- ・あけぼのアート&コミュニティセンターのように NPO が借りて、それを貸し出す。運営に関して融通が利くという利点がある。一方課題は収支だと思う。収支を考える場合に、暖房費の比重が大きい。

**【委員 G】**

- ・広葉小学校と緑陽小学校の暖房費はどのぐらいになっているのか。

**【事務局】**

- ・調査して報告する。

**【会長】**

- ・消防の整備費とランニングコストとしての暖房費を考えることが重要である。次回以降ど

のように運営するか議論したい。

**【委員H】**

- ・コミュニティビジネスとして記載した。実現性を考え、北広島市内に運営母体となる団体があるか調べて考えてみた。参考資料のように社会教育関係団体やNPOなどが数多くある。こうした北広島市のサークルやNPOなどから運営母体を想定し活用を考えた。
- ・団地の中で、個人でケーキやパンを焼いて自分で販売している人がいる。こうした人たちの小さなビジネスの場になると良いのではないかと考えた。
- ・プロになるのではなく、仲間で考えて行うことが大切である。
- ・こうして地域の人が互いに連携して行うことが大切ではないか。

**【会長】**

- ・コミュニティビジネスというのは、大切な視点ではないか。地域の人々が互いに教えあい、ボランティアではなく小さなビジネスとして成り立つようにすることが大切ではないか。
- ・コミュニティビジネスは、ビジネス重視ではなく、コミュニティ重視だと思う。

**【委員I】**

- ・全体としての位置づけの中で考えた。
- ・介護施設が近隣の中でも少ないのではないかと考えている。介護施設の空きを待つ高齢者が増えていることから、こうした高齢者に対応することが必要だと思う。
- ・そこで、学校跡を介護福祉村として介護の一大拠点をイメージした。こうした活用は、最終的に活用にもつながるのではないか。

**【会長】**

- ・北広島市で福祉施設の動きはあるのか。

**【事務局】**

- ・小さな施設の動きなどあるようだが、総合的な動きはない。

**【会長】**

- ・福祉施設のために、福祉施設を運営する民間企業に学校跡を売ってしまうという考え方もある。しかし、そうしないで福祉施設などとして活用することもある。

**【委員E】**

- ・保育所に入りたいという待機児童はどのぐらいいるのか。こうした児童を対象にした施設にするのがよいのではないか。
- ・あまりお金をかけない施設として学童保育、児童館などがある。
- ・実際に事業として成立するかが大切ではないか。
- ・子供と高齢者の交流の場にするのもよいのではないか。

**【会長】**

- ・現在、子供と高齢者の交流する場はあるのか。

**【委員H】**

- ・おたっしや塾と学童保育の交流はある。

**【委員E】**

- ・交流の場として夢プラザの喫茶室をイメージした。気軽に行けて利用しやすいのではないか。市民が自由に意見交換できる場にする必要がある。

**【委員F】**

- ・個人的に広いスペースを借りたいという人がいるのではないか。例えば絵画をする人などは発表する場として活用したいのではないか。

**【会長】**

- ・曙小学校でも自分の趣味の発表の場があると良いという意見があった。こうした活用方法は、管理運営と大きく関係する。

**【委員J】**

- ・提案は学校をそのまま活用できることを考えた。
- ・コミュニティセンターではできない音楽等のサークル活動に活用するために、防音対策等をしっかりすることが大切ではないか。
- ・子供がいることはよいことなので児童館として活用するのがよい。
- ・緑陽小学校は、公園緑地と接しているので、自然体験の施設として学校と合わせてそれらを活用する施設にするがよいと思う。
- ・北広島市には歩行者・自転車専用道路もあるので、そうしたのもも活用し、自転車の駅などに活用できるようにするとよい。

**【会長】**

- ・宿泊は、簡易なものをイメージしているのか。

**【委員J】**

- ・ユースホステルのようなものがよいのではないか。

**【会長】**

- ・自転車の道の駅は面白いかもしれない。
- ・多世代交流ということで複合的な施設ということでコンセンサスはできた。
- ・多世代交流のコミュニティ施設ということではないか。
- ・オフィスとしての活用や貸しオフィスは、多くの意見をもらったので、今後、運営主体と合わせて議論していきたい。
- ・次に、学校としての活用に関する提案を聞きたい。

**【委員K】**

- ・近代農業を教えるところがないので、このような機能も含めて研修施設を提案した。例えば中小企業大学校は、研修コースがいつも一杯になるようだ。このように研修に関するニーズはあると思う。
- ・また、北広島市で農業研修を行い、研修を受けた人を限界集落と言われるところに派遣すると言ったこともできるのではないか。
- ・若い人が研修に訪れるようになると北広島市にも活気がでるのではないか。

**【会長】**

- ・研修施設は、研修内容を検討することが重要である。北広島市で農業研修を行えるのか？

**【委員D】**

- ・農業を伝えることは大切ではないか。北広島市でコストを抑える大規模農業を教えることはできないかもしれないが、有機農業のようなことを教えることはできるかもしれない。

有機農業は奥が深く、今後の農業の上でも大切である。

- ・合わせて、今後の社会を考えるとバイオ産業が重要だと思う。世界に追い付けるようにすることが必要である。
- ・日本の単位面積当たりの生産高は非常に高い。これは、品種改良などいわゆるバイオである。農業は、そうしたバイオ産業につながる。北広島市でそうした産業を盛んにすることが必要である。

**【会長】**

- ・農業を教育につなげられるとよいのではないか。

**【委員D】**

- ・農業を教えると言うことはチャンスだと思う。チャレンジしている農家もいれば、耕作放棄地もある。

**【委員H】**

- ・農業の大切さを教育で教えていくことが大切ではないか。

**【会長】**

- ・小学校を野菜工場にするということもあるかもしれない。ひと教室ぐらい野菜工場があってもよいのかもしれない。

**【委員L】**

- ・閉校に伴って体育館が開放されなくなる可能性があるが、体育館へのニーズは高い。体育館として活用できるようにすることが大切である。

**【会長】**

- ・体育館は、学校施設の中で一番人気が高い。

**【委員G】**

- ・高齢者は、健康に関心が高い。そのようなメニューを用意するのがよいのではないか。

**【委員F】**

- ・体育館でこんなプログラムをやりますというのもよいのではないか。

**【会長】**

- ・フラックと行ってスポーツが楽しめるのもよい。

**【委員F】**

- ・フラダンスみたいなのは、教室や体育館を使うことも考えられる。

**【会長】**

- ・フランダンスを含め体育館に関しては、運営が大切になってくる。

**【委員G】**

- ・老人クラブでは、卓球をやっていて自由に参加できる。こうしたものもよいのではないか。

**【会長】**

- ・もみじ台では、体育館の活用として、バスケットボールのプロチームであるレラカムイの練習場を誘致しようとしている。

**【委員D】**

- ・地域の貴重な専門書などを寄贈してもらい保存するという特徴ある図書館がよいのではないか。

- ・図書館では、既存してもらった専門書などを分類して整理することも必要である。

**【会長】**

- ・蔵書を預かる、譲り受けるというのは重要ではないか。

**【委員E】**

- ・すでに準備している人もいるようである。廃校跡には図書館が必要と考えている。

**【会長】**

- ・北広島団地には、図書館がなく図書コーナーがある。現在の図書館とは異なる図書館を考えることも重要ではないか。

**【委員M】**

- ・生涯学習センターはシニア向け、引き続き学習したいという人向けの場にするのがよい。
- ・子供向けとしては、自然学校や教育プログラムを実施する施設がよい。

**【会長】**

- ・地域の人材を活かす匠の学校は、人材が豊富な北広島市でなければならない。自然学校は、広域をイメージした施設になるのか。

**【委員M】**

- ・広域をイメージしている。広域の自然学校である。

**【委員H】**

- ・食育学習センターは、学校支援をするものとしてイメージした。赤毛種を保存するということをやってはどうか。赤毛種は食育につながる。
- ・初等教育が重要ではないか。

**【会長】**

- ・初等教育が重要ではないか。今ある学校を支援するという考え方と、委員Eの学習の森と言うのは近いものではないか。

**【委員E】**

- ・学習塾に行けない児童を地域で支援することが大切である
- ・他の地域に向けて児童を募集してもよいのではないか。

**【委員D】**

- ・森林キーパーで間伐材、下草刈りを行う。ここをスタートしてフットパスコースをつくるのもよいのではないか。
- ・また、農業体験の拠点にするのも良いのではないか。

**【会長】**

- ・農業体験は重要である。すぐにでもできそうな内容である。農業は教育に広がりを持たせる。

**【委員F】**

- ・パソコン教室として活用するのがよい。北広島市で実施しているパソコン教室は、レベルが高くない。もう少し細かい指導があるとよいのではないか。

**【会長】**

- ・コンピューター室を活用していくことになる。
- ・廃校跡は、学習の場としての活用が中心となりそうだ。農業など地域資源を活用すること

が大切である。

- ・また、今の児童の支援を行うということもあった。そのほかスポーツや健康増進のための活用、図書館としての活用が出された。
- ・次回以降、誰がやるのかということも含めてコメントを頂きたい。できれば、来年は準備の年にして廃校と同時に何かスタートするのがよいと思う。

#### 4 次回市民検討会議の日程

- ・次回は10月12日（火）18時から、この会議室（市役所本庁舎2階会議室）で開催することとする。

#### 5 閉 会